

授業参観 たいへんお世話になりました

1月24日（金）に授業参観を実施しました。当日は、性に関する指導と縄跳び大会を実施しました。たいへん寒い中でしたが、多数参観いただきありがとうございました。

◇性に関する指導（性教育）◇

3校時に授業参観を行いました。今回は「性に関する指導（性教育）」についての学習を参観いただきました。本校では「自己の性を受容し、自分を大切にしようとする心情や態度及び相手を思いやる心情や態度を育てる」ことをねらって、段階的に学年に応じた学習を進めています。子ども達の様子は、いかがでしたでしょうか。以下に学習内容及び感想を簡単にお知らせします。

	題材名	学習内容	授業後の感想（児童、保護者）
1年	たいせつなからだ	体を清潔にする方法を知り、実践する。	わたしは、こんどからちゃんと60びよう手あらいをしたいです。（末永 風知） 特に性や体に関する事は、家庭内ではなかなか話題に出ず、学校で教えて頂けるのはうれしいです。（先生が言うのを聞きます。）お風呂の入り方、手洗いは早速、家でもしています。
2年	大切な私とあなたの体と心	自分や相手の体や心の大切さに気付き、生活に活かそうとする。	自分が嫌なことをされたら、はっきり「いや」と伝えるようにしたい（西村 湊翔） SNSなど今では様々な場面で情報が入ってくるので、「性」や「生」について正しい知識をつけてほしいと思います。
3年	大切な私とあなたの体と心	自分や相手の体や心の大切さに気付き、生活に活かそうとする。	何かあったら近くの信用できる人や担任の先生、家族に言うようにします。（岡崎祐雅） 「プライベートゾーン」の話から家でも下着の話をしました。いろいろな事件もあるし自分の身は自分で守れるようになってほしいです。
4年	思春期にあらわれる変化	思春期には初潮・精通が起こることの仕組みを理解する。発育・発達に個人差があることが分かる。	初めて「射精」という言葉を知りました。もし、友だちが悩んでいたなら「大丈夫？」と声をかけたらし、自分が始まったときは、落ち着いてお母さんに伝えて、喜びたいと思いました。（杉本楓翔） 思春期の体や心の変化について、男女一緒に学ぶことは大切だと思いました。また、分からないことや心配事など、先生達も含め大人に相談できる環境も大事だと思いました。
5年	生命誕生のふしぎ	生命誕生の仕組みを知ることと、与えられた命を大切に、家族の思いに感謝の気持ちを持つ。	ぼくはこの学習をして、ぼくの命が3億分の1の命ということにびっくりした。3億分の1の命だから、これからも一日一日を大切に生きていきたいと思った。またぼくはお母さんの手紙を読んで、ぼくの名前にはいろいろな思いがこめられていることが分かった。（中田現月） 我が子が誕生するまでには楽しみでたまらなかったです。生まれた時は嬉しくて、生まれてきてくれてありがとう！と思いました。今日の生命誕生の学習から子どもたちがより自分を大切にしていってほしいと思います。
6年	病原体でおこる病気～エイズ～	エイズウイルス（HIV）の感染経路を理解する。エイズの人への偏見や差別をしない。	エイズに感染しても薬を1つ飲むだけでその他は周りの人と同じ生活ができることを知りました。学ぶ前はもっとつらい病気だと思っていました。差別をしないためにも正しく知ろうと思えました。（杉本悠真） エイズについて正しく知る機会となり、保護者としても学びがありました。正しく知って差別や偏見のない社会になってほしいです。

◇縄跳び大会◇

4校時には、体育館で校内縄跳び大会を実施しました。今年はルールを見直しましたので、これまで以上にそれぞれの目標に向かって挑戦する姿が見られました。短縄大会の持久とびでは、これまで3分間ずっと跳び続けることを目標にしていたので、ゆっくりとびながら3分を目指す子ども達が多くいました。そこで、「3分間で3回まで引っかけもよい・できるだけ多くの回数を目指す」とルールを見直しました。すると素早い動きでしかも長く跳び続ける姿が見られるようになっていきました。中には、3分間一度も失敗せず500回以上跳ぶ児童もいました。また、長縄大会も、これまでは各学年の目標回数と大会当日の回数の誤差で争っていましたが、今年は練習時の最高記録と大会当日の誤差に見直しました。練習時の記録を、廊下にグラフで掲示していきまので、昼休みに練習する学年もできるほどの盛り上がりでした。2・3年生が優勝しましたが、どの学年も最高記録を目指し共に声をかけながらひとつになってがんばっている姿が輝いていました。6年生が練習時に出した118回という記録は、これからの目標記録になると思います。寒い体育館の中で、あたたかいご声援ありがとうございました。



短縄大会の様子



長縄大会の様子

